

未来に向けて 地域防災が変わる



特集 P. 2 ~ 5
**地域を守る
消防団の
役割とこれから**

5月号主なページ

まちトピ	P. 6 ~ 7
地域おこし協力隊通信他	P. 8
ウエルネスメッセージ	P. 10 ~ 11
くらしの情報	P. 14 ~ 15

発行／山形県最上郡総務企画課まちづくり推進室 〒999-6101 山形県最上郡最上町大字向町 644 TEL 0233-43-2111 FAX 0233-43-2345
ホームページ <https://town.mogami.lg.jp> 印刷 合同会社 クロスプランニング



最上町はゼロカーボンシティを推進しています！

脱炭素化の実現に向け

最上町では令和3年度にゼロカーボンシティを宣言し、2050年の脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してきました。ゼロカーボンの達成は、地球規模の気候変動に対処するだけでなく、個々の地域を持続可能にすることにも繋がります。この認識をより多くの住民や事業者と共有し、具体的なアクションを増やしていくために、今後広報紙などを通し、情報発信していきます。

6月号からは、ゼロカーボンシティについての内容をシリーズでお伝えいたします！

エネルギーの地産地消を目指して

もがみ地産地消エネルギー合同会社
Mogami chisan-chisyo energy

もがみ地産地消エネルギー合同会社【通称：もっちい】



もがみ地産地消エネルギー合同会社 (もっちい) 代表 三部 義道

もがみ地産地消エネルギー合同会社は、最上町に所在を置く、ゼロカーボン・脱炭素化の実現に取り組む企業です。今回は代表を務める三部義道さん(下小路)に会社の取り組みについてお聞きしました。

昨年3月に合同会社として法人化し、自然エネルギー由来の電気の供給(取次)と、町内における自然エネルギー電源の開発をスタートさせました。現在、私たちの住む世界は、地球温暖化を原因とする地球規模の気候変動・環境危機に晒されています。その大きな要因として挙げられているのが人間の生活から排出される温暖化効果ガスCO₂(二酸化炭素)です。このまま何もしないで放置すると①海面上昇により国土が水没してしまう国が出る、②砂漠化による水不足、③生態系の変化による生物の絶滅、④農業への打撃による食糧危機などが予測されています。

2015年のパリ協定により、今後地球の気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満1.5℃に抑えるという目標が採択されました。我が国においても、2050年までにCO₂の排出を実質ゼロにするという計画を打ち出し、最上町でも2021年12月9日にゼロカーボンシティ宣言を行いました。

地球規模の環境問題は、一人ひとりの生命に関わることであり、人任せにできることではありません。私たちは電力供給事業、および再エネ電源開発事業を通して、エネルギーの地産地消を実現し、環境危機に対処するとともに、地域内の経済循環を生み出したいと考えています。そして、「必要なものは自らつくる・自分のことは自分で決める」というマインドセットを育み、「理想の暮らし・まち・未来」を思い描き、行動に移していきます。ぜひ皆さんも「ゼロカーボン・脱炭素化」という視点でのコミュニティづくりに参加していただき、一緒に豊かな未来を実現しましょう。

こちらのQRコードでは
会社の取り組みを紹介しています。



町では、もっちいと連携してコミュニティ主導の脱炭素化を目指します！